

8-(1).教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

①幼稚園教諭一種免許状

福祉・心理に強い「幼稚園教諭」の養成に向けて

本課程は複雑化・多様化する保育・教育ニーズに対応できる幼稚園教諭を目指し、幼児の心身の発達支援とともに、保育・教育現場における課題への適切な支援ができる専門的な知識と実践力を身に付けた幼稚園教諭の養成を目指しています。

本課程のカリキュラムでは保育・教育系の基礎科目に加えて、福祉系科目と心理学系科目の学びを通して、プラスの専門力を身に付けることができます。心理学系科目は子どもの心理学的な理解をはじめ、保護者へのカウンセリングなどのサポートにもつながります。また、福祉系科目は福祉社会の様々な場面での支援や、近年増加する発達障がい児などへのサポートにつながります。

本課程でのこのような学びを通して専門性を高め、福祉や心理にも精通した幼稚園教諭の養成に向けて取り組んでいます。

また、幼稚園教諭免許状の取得と共に、保育士資格の取得によって、認定こども園における保育教諭として活躍できる機会が広がります。

②小学校教諭一種免許状

実践力のある「小学校教諭」の養成に向けて

児童の発達段階や幼児期との連続性の理解のもと、小学校教育における教科指導や生活指導等に関する基礎的な資質・能力の修得を基盤にして、現場で実践力を発揮できる小学校教諭の養成を目指しています。

本課程のカリキュラムでは、教育の基礎的科目や教科及び教科の指導法に関する専門科目等に加えて、福祉系科目と心理学系科目の学びを通して、プラスの専門性を身に付けることができます。また、幼児保育系科目の学びを通して、幼保小連携や発達障がいの理解をし、指導や支援に生かすことができます。

実習科目としては、学校体験活動と教育実習があります。これは小学校現場のフィールドでの実体験を通して、実感的・実践的な学びとなります。

また、小学校教諭を目指す学生に対して、「教職講座」を3年次より開講し、教職教養、小学校全科対策、面接指導を実施することにより、学校現場での実践力のある教員養成を目指しています。

本課程でのこうした学びを通して、教職へのモチベーションと専門性を高め、学校現場で活躍できる人材を養成します。